

今を未来に

2学期が明日 12月22日(金) で終了します。

一年で一番長く、学校・学年行事も多い2学期が明日で終わります。

9月から数えると、登校をした日は76日となり、1学期の74日に比べてもやっぱり一年で一番長い学期となっていました。ちなみに、1月9日から始まる3学期は6年生が52日・1年生から3年生は53日、4・5年生は54日となります。3学期は卒業式があるため、学年によって学校へ来る日数が変わってきます。(1年生から3年生は卒業式の日が自宅待機の日になるので、出席日数は4・5年生と同じになります。)

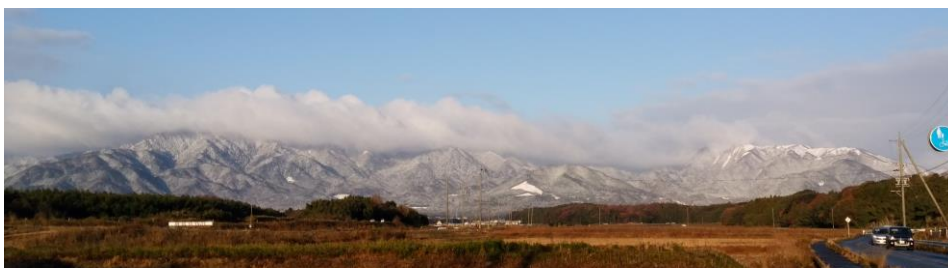
登校の日数が多いだけではありません。運動会の練習、社会見学、三泗音楽会、人権総合学習・生活科での様々な人との出会い、かけ足・持久走、児童大集会、保幼小中音楽交流会、1年生と保幼の交流会などなど、教室から出て行う活動の何と多かったことか。これ以外にも振り返ってみると、いろいろなことを皆さんは思い出さずにはありません。学級や学年で行っているお楽しみ会や誕生会、学年行事、学年集会・・・たくさんの経験を積むことができた2学期でした。みなさんの頑張りは、明日担任の先生から渡してもらう連絡表にもたくさん書かれています。お家の方と一っしょに連絡表を見ながら1学期より頑張ってきたことやできるようになったことなどを振り返り、冬休みにできること・やろうと思っていることを確かめるといいですね。

保護者の皆様には、それぞれの行事や授業を進めるにあたって、何かとご支援・ご協力をいただきました。何より、保々小学校の子どもたちは欠席がとても少ないです。毎日決まった時間に当たり前のように学校へ送り出さずにはいられず、実はこの毎日続ける事がとっても大変なことです。中には出渋りそうになっているわが子を見て、心配だけどわざといつも通りに背中を押してくださった、そんな日もあったことと思います。ご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

この冬休みは、17日間と長い期間になっています。2学期末には近隣の小学校でインフルエンザ(A型)による学級閉鎖も始まっていました。3学期のはじめに「冬休みはどうだった?」とお子様方に聞いてみると、「休みになった2日後にインフルエンザにかかった。」「遊んでいてけがをして、お正月はずっと寝ていた。」と話してくれる子が毎年います。けが、病気、健康管理にはお子様だけでなく、皆様も気をつけてお過ごしください。そして「平成」最後の1年を元気な体と心で迎えられますことを願っています。

1年生 保々保育園・保々幼稚園の年長さんといっしょに 12月14日

1年生の子どもたちが生活科で取り組んできた「おしごとスタンプラリー」に、保々保育園・保々幼稚園の年長さんを招いて、この日はみんなが小さな先生になって、小学校の



2学期後半は寒かったです。鈴鹿の山に3回雪が降ると保々にも雪が降ります。12/14朝



お弁当箱を包んでみましょう。

生活が楽しく送られるようにできるといいなあと思うことを、園児に紹介し、実際に手ほどきをしてくださいました。保々の園を卒園した子は、ちょうど1年前に体育館で今の2年生の子がたくさん遊びコーナーを作って、楽しませてくれたことを思い出した子もいたと思います。

園のお友達は、まずスタンプラリーのカードを探検ボードに挟んで、A・B組それぞれに準備されていた各コーナーを回ります。そこには、1年生の小さな先生が待っていて、おはしの使い方、ふくろの包み方、ほうきやちりとり、くつやコップ入れ・エプロンのひもの結び方、おたまを使ってお汁をよそう、そんなコーナーを作って待っていてくれます。園のお友達は、小さな先生からの呼び込みの声に引き込まれるように、各コーナーを回り始めました。園のお友達もその全てが初めてということではありません。でも、1年生の子たちは自分たちが小学校生活をスタートしてこの9か月間経験してきた、「これが上手にできたらいいなあ。」「私はこれが苦手で、ちょっとはじめは困ったよ。」と思ったことを、1年生の子どもたちの目線で教えてくれますから、大人が教えるよりわかりやすく、真剣に聞いて、できるようになりたいと思ってきているように感じました。

この2か月間準備してきた「おしごとスタンプラリー」は大成功でした。



おはしもうまく使えるといいね。



お汁物を給食の時よそうよ。できる？

何かあったかなあ？19日（火）の朝、とっても元気な子どもたち！！

19日火曜日の朝のできごとです。この日の朝は、市民センターの入り口前の横断歩道で登校を見守りました。いつもより2分ほど遅く向かったこともあったのですが、小牧南の登校班の子たちと学校前の十字路で朝の挨拶を交わしました。「おはようございます。」いつも小牧南の班の子たちは挨拶を交わしてくれますが、いつもより元気な挨拶に感じました。そして、いつもの横断歩道で待っていると、まきの木台や小牧南、一色、中瀬古の登校班がやってきました。どの班もいつもより早く、どの班も大きな声で挨拶をしてくれます。中には班長が「今、うちの班、全員挨拶したよね。」と確認をしている班もありました。市民センターの前を通る最後の班の子と学校前の十字路に戻りました。いつもならここで上条や新田の子たちと出会うのですが、その姿がありません。よく見ると、すでに池の近くまで行っています。思わず「今日は、何かあったのかなあ。」と、一緒に信号で待つ中瀬古の子たちに聞きました。「何かあるのかなあ？」「ひょっとしたら昨日の地区児童会で登校班のことを話し合ったからかなあ？」そんなことを言っていると信号が変わり、運動場へ入りました。その時保々中学校の校舎の時計を見ると、8時3分でした。そして、よく見ると西村の最後の班の子たちも運動場を歩いていました。やっぱり何かある？！

すごく早く着いたわけでもありません。ほんの3分～5分ほどみんなが早かっただけなのですが、気持ちよく挨拶をしてくれる子が多かったこともあって、「何かあったのかなあ。でも、とっても気持ちよくスタートできた日で、何かいいことありそう。」と思いました。

3学期も、こうやって「みんなが何か元気」って、気持ちよく感じられる日を一日でも多くできるように、全校のみんなで頑張っていきましょう。